全教共済

※２ページ目もご記入ください。

後遺障害診断書(胸腹部臓器用)

氏　名		男・女	生年月日	年　月　日（　歳）	
住　所				職　業	
初診日	年　月　日	症状固定日		年　月　日 症状固定	
入院期間	年　月　日から 年　月　日まで　〔　〕日間		手術日	年　月　日	
傷病名	（初診時の症状および経過）		手術名 手術内容	ＫＭ－　レセプト点数（　）点	

後遺障害の内容

呼吸器

- 動脈血酸素分圧（　）Torr　動脈血炭酸ガス分圧（　）Torr
- スパイロメトリー　%1秒量（　）%肺活量（　）
- 呼吸困難の程度　(高度)　(中度)　(軽度)
- 運動負荷試験内容（　）

循環器

- 心筋梗塞、狭心症、心臓外傷等の後遺障害により心機能が低下した場合の運動耐容の低下
  - 許容条件ガイドライン基準に照らし　(中程度)　(軽度)
  - 左心室駆出率（　）％　METs（運動強度）（　）
  - ◌ ペースメーカーの植え込みをしている　◌ 除細動器の植え込みをしている
- 房室弁または大動脈弁の置換で、継続的な抗凝血薬が　(必要)　(不要)
- 大動脈に偽腔開存型の解離を残す　◌ 該当する　◌ 該当しない

食道

- 食道の狭窄による通過障害　◌ 該当する　◌ 該当しない

胃

- 胃の切除範囲　◌ 全部　◌ 噴門部　◌ 幽門部　◌ 該当しない
- 胃の切除により認められる障害　◌ 消化吸収障害　◌ ダンピング症候群
  - ◌ 逆流性食道炎　◌ 低体重＝ＢＭＩ20以下（以前から20以下の場合は10%以上の体重減少）

小腸

- 小腸の大量切除により
  - ◌ 残存する空腸および回腸の長さが100cm以下となった
  - ◌ 残存空・回腸の長さが100cmを超え300cm未満であって消化吸収障害が認められる
- 人工肛門の造設により
  - 小腸内容が漏出することによりストマ周辺に著しいびらんを生じパウチ等の装着ができない
    - ◌ 該当する　◌ 該当しない
- 小腸皮膚ろうを残す場合
  - 小腸内容大部分を漏出しパウチ装着ができない
    - ◌ 該当する　◌ 該当しない
  - 小腸内容漏出100m/日以上のもので
    - ◌ パウチ等による維持管理が困難　◌ 該当しない
  - ◌ 小腸内容漏出少量
- 小腸狭窄を残す　◌ 該当する　◌ 該当しない

大腸

- 結腸のすべてなど大腸のほとんどを切除　◌ 該当する　◌ 該当しない
- 人工肛門の造設
  - 大腸内容が漏出することによりストマ周辺に著しいびらんを生じパウチ等の装着ができない
    - ◌ 該当する　◌ 該当しない
- 大腸皮膚ろうを残す場合
  - 大腸内容大部分を漏出しパウチ装着ができない
    - ◌ 該当する　◌ 該当しない
  - 大腸内容漏出100m/日以上のもので
    - ◌ パウチ等による維持管理が困難　◌ 該当しない
  - ◌ 大腸内容漏出少量
- 便秘（神経障害性）　◌ 用手適便を要する　◌ 左記に該当しない
- 便失禁（神経障害性）　◌ 完全便失禁を残す　◌ 常時おむつが必要
  - ◌ 常時オムツの必要はないが、明らかに便失禁である

◎該当する欄に記載および○をしてください。なお、後遺障害の等級は記入しないでください。

2023.11改訂

肝臓	◌ ウィルスの持続感染が認められ、かつ、AST、ALTが持続的に低値である肝硬変 ◌ ウィルスの持続感染が認められ、かつ、AST、ALTが持続的に低値である慢性肝炎	
胆のう	◌ 胆のうを失った	
すい臓	内分泌機能障害　◌ 認められる　◌ 認められない 外分泌機能障害　◌ 認められる　◌ 認められない	
	◌ 軽微なすい液ろうを残したため皮膚に疼痛等を生じる	
ひ臓	◌ ひ臓を失った	
泌尿器	じん臓の障害　◌ じん臓を失っていない　◌ 一側のじん臓を失った GFR値　（　　）ml/分　◌ 人工透析をおこなっている	
	尿路変更術を行った尿管、膀胱および尿道の障害 ◌ 非尿禁制型尿路変更術をおこなったもので、尿が漏出することによりストマ周辺が著しい皮膚のびらんを生じパット等の装着が出来ない ◌ 非尿禁制型尿路変更術をおこなったもので、上記に該当しない ◌ 禁制型尿リザボア術式をおこなった ◌ 尿禁制型尿路変更術をおこなった ◌ 外尿道口形成術をおこなった、または尿道カテーテルを留置している	
	排尿障害	◌ 残尿が100ml以上　◌ 残尿が50ml以上100ml未満 ◌ 糸状ブジーを必要とする ◌ シャリエ式尿道ブジー第20番がかろうじて通り、時々拡張術が必要
	蓄尿障害	◌ 持続性尿失禁を残す ◌ 終日パット等を装着、しばしば交換しなければならない ◌ 常時パットの装着が必要だが、パットの交換までは要しない ◌ 常時パットの装着は要しないが下着が少しぬれる
	頻尿	◌ 頻尿を残す
生殖器	女性	◌ 閉経していた　◌ 閉経していない
		◌ 両側卵巣喪失、常態として卵子が形成されない ◌ 両側の卵管に閉塞もしくは癒着を残す、頚管に閉鎖を残す、子宮を失うのいずれか ◌ 陰茎を挿入出来ない状態の膣口狭窄を残す ◌ 狭骨盤の真結合腺が10.5cm未満または入口部横径が11.5cm未満 ◌ 一側の卵巣を失った
	男性	◌ 無精子症であった　◌ 無精子症ではなかった
		◌ 両側睾丸喪失、常態として精液中に精子が存在しない ◌ 陰茎の大部分が欠損　◌ 一側の睾丸を失った ◌ 尿道または射精管の断裂等により射精障害を残す ◌ 神経系検査にもとづく勃起障害を残す　検査内容（　　）

胸腹部臓器の障害	その他参考所見
◌ 労働能力が全くなく、かつ生命維持に必要な身の回りの処理について他の人の介護を（◌ 常時　◌ 随時）要する ◌ 労働能力が全くなく、終身労務に服することが出来ない ◌ 労働能力が平均人の1/4程度しかない ◌ 労働能力が平均人の1/2程度しかない ◌ 労働能力は正常に近いが就労可能な職種について制限がある	

上記のとおり診断いたします。

所在地

名　称

診療科

診断日　　年　　月　　日

診断書発行日　　年　　月　　日　医師氏名　　印

※全教共済の後遺障害とは、労働基準法施行規則別表第二表「身体障害等級表」に基づいています。詳しくは「労災補償障害必携」をご参照ください。

◎該当する欄に記載および○をしてください。なお、後遺障害の等級は記入しないでください。

2023.11改訂